令和4年度文化庁委託事業

「地域別劇場・音楽堂等職員**アートマネジメント**研修会（中四国地域）」開催要項

日程・内容

日程：令和4年12月15日（木）～12月16日（金）

会　場：**ＪＭＳアステールプラザ　２階　多目的スタジオ**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 日　時 | | 科目 | 内　　容 | 講　師 |
| 12/15  （木） | 13：30～  14：00 | 受付 | <受付場所>多目的スタジオ前 |  |
| 14：00～  14：10 | 開講式 |  |  |
| 14：10～  15：40 | 講義Ⅰ  【講演】 | 「ｗｉｔｈコロナに向けての公立劇場運営  　～地域連携と文化の復興～」 | 講師  大澤　寅雄氏  （（株）ニッセイ基礎研究所主任研究員） |
|  |  | 休憩 | |
| 16:00～  17:30 | 講義Ⅱ  【対談】 | 「芸術文化を中心としたまちづくり  　～長野、豊岡の事例を参考に～」 | 講師  野村　政之氏  （信州アーツカウンシル（（一財）長野県文化振興事業団）ゼネラル・コーディネーター）  河村　竜也氏  （芸術文化観光専門職大学助教／豊岡演劇祭プロデューサー） |
|  |  | 休憩 | |
| 19:00～21:00 | 情報交換会　　会場　　「和ダイニング アストラル」　（メルパルク広島　２階） | | |
| 12/16  （金） | 9:00～  9:30 | 受付 | <受付場所>多目的スタジオ前 |  |
| 9:30～11:45  （途中休憩15分） | 講義Ⅲ  【座談会】 | 「地方の公立劇場で演劇事業をするということ～アステールプラザの演劇事業を題材に～」 | 講師等  杉山　至氏  （セノグラファー／芸術文化観光専門職大学准教授）  河村　竜也氏  （芸術文化観光専門職大学助教／豊岡演劇祭プロデューサー）  福名　理穂氏  （劇作家／演出家）  神明　恒彦氏  （（公財）広島市文化財団アステールプラザ主幹） |
| 11:45～ | 閉講式 | 閉講式後、解散 |  |

研修会講師等プロフィール

《講義Ⅰ》【講演】

　（（株）ニッセイ基礎研究所主任研究員）

1970年生まれ。慶應義塾大学卒業後、劇場コンサルタントとして公共ホール・劇場の管理運営計画や開館準備業務に携わる。2003年文化庁新進芸術家海外留学制度により、アメリカ・シアトル近郊で劇場運営の研修を行う。帰国後、NPO法人STスポット横浜の理事および事務局長、東京大学文化資源学公開講座「市民社会再生」運営委員を経て現職。共著＝『これからのアートマネジメント"ソーシャル・シェア"への道』『文化からの復興 市民と震災といわきアリオスと』『文化政策の現在３ 文化政策の展望』『ソーシャルアートラボ 地域と社会をひらく』。（株）ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室主任研究員、NPO法人アートNPOリンク理事長、日本文化政策学会理事、九州大学社会包摂デザイン・イニシアチブのアドバイザー。

《講義Ⅱ》【対談】

　（信州アーツカウンシル（（一財）長野県文化振興事業団）ゼネラル・コーディネーター）

1978年生まれ。長野県塩尻市出身。大学から演劇活動を始め、公共ホール、民間劇場・劇団制作部勤務を経て、2012,13年(公財)東京都歴史文化財団・アーツカウンシル東京のアーツアカデミー調査員、2014年より(公財)沖縄県文化振興会・沖縄アーツカウンシルでプログラムオフィサーを務める。並行して、舞台芸術の企画制作、創造活動に携わり各地の芸術祭などに参加。2018年より22年3月まで長野県県民文化部文化政策課文化振興コーディネーターとして、文化施策の推進や県内の文化芸術活動の支援に携わる。22年4月より現職。NPO法人舞台芸術制作者オープンネットワーク理事、一般社団法人全国小劇場ネットワーク代表。

　（芸術文化観光専門職大学助教／豊岡演劇祭プロデューサー）

1980年生まれ。広島出身。2002年に広島市立大学芸術学部美術学科油絵専攻を卒業後、広島で演劇活動を経た後、2005年に平田オリザ氏主宰の劇団「青年団」に入団。約15年間、東京を中心に主に俳優、プロデューサーとして、劇団「ホエイ」を立ち上げるなど国内外で活動を広げる。2020年から「豊岡演劇祭」のプロデューサーとして主にフリンジ部門を担当。2021年には「芸術文化観光専門職大学」の助教に就任。専門分野は、アートプロデュース、アートマネジメント等。

1／2

《講義Ⅲ》【座談会】

　（セノグラファー\*／芸術文化観光専門職大学准教授）

1966年生まれ。国際基督教大学卒。在学中より劇団青年団に参加。2001年度文化庁芸術家在外研修員としてイタリアにて研修。近年は青年団、地点、サンプル、てがみ座、デラシネラ 、DanceTheatre LUDENSなど、演劇／ダンス／ミュージカル／オペラ等幅広く舞台美術を手掛ける。2014年、第21回読売演劇大賞・最優秀スタッフ賞受賞。舞台美術研究工房・六尺堂ディレクター、女子美術大学非常勤講師、NPO法人S.A.I.理事、二級建築士。演劇引力廣島　第8～10回プロデュース公演舞台美術担当。2021年より、芸術文化観光専門職大学（豊岡）准教授

\*セノグラファー：舞台の空間・背景をデザインする人、舞台美術家

　（芸術文化観光専門職大学助教／豊岡演劇祭プロデューサー）　［再掲］

1980年生まれ。広島出身。2002年に広島市立大学芸術学部美術学科油絵専攻を卒業後、広島で演劇活動を経た後、2005年に平田オリザ氏主宰の劇団「青年団」に入団。約15年間、東京を中心に主に俳優、プロデューサーとして、劇団「ホエイ」を立ち上げるなど国内外で活動を広げる。2020年から「豊岡演劇祭」のプロデューサーとして主にフリンジ部門を担当。2021年には「芸術文化観光専門職大学」の助教に就任。専門分野は、アートプロデュース、アートマネジメント等。

　（劇作家／演出家）

1991年生まれ。広島県出身、東京都在住。20歳まで広島で過ごし、中学時代から「役者と触れ合う仕事がしたい」という漠然とした夢を抱えて上京。19歳の頃ノゾエ征爾氏（はえぎわ）の『ガラパコスパコス～HIROSHIMA ver.～.』（演劇引力廣島第9回プロデュース公演／2012）に演出部として参加し、演劇の表現の豊かさに感銘を受ける。2012年、奥山雄太氏（ろりえ）のゼミに一年間通い、作・演出として短編作品をいくつかつくる。卒業後、はえぎわ、ろりえ、小松台東、などのスタッフとして経験を経て、日常のリアルな会話と心情を描く舞台を目指す。2014年7月ぱぷりかを旗揚げ。以降、ぱぷりか全作品の作・演出を務める。2017年こまばアゴラ演劇学校"無隣館"演出部に所属。無隣館若手自主企画福名企画の公演を経て、2019年4月青年団演出部入団。2021年に上演した第5回公演『柔らかく搖れる』で、第66回岸田國士戯曲賞受賞。

2／2

　（（公財）広島市文化財団アステールプラザ主幹）

1963年生まれ。広島出身。楽器の製造・卸会社から音響会社を経て、1992年公益財団法人広島市文化財団入職、区民文化センターで施設管理及び文化事業の企画運営を担当。2006年にアステールプラザへ配属となり、演劇事業やダンス事業の企画運営に携わる。2014年から演劇事業統括、2022年からオペラ事業を含むアステールプラザの文化事業統括を担当。